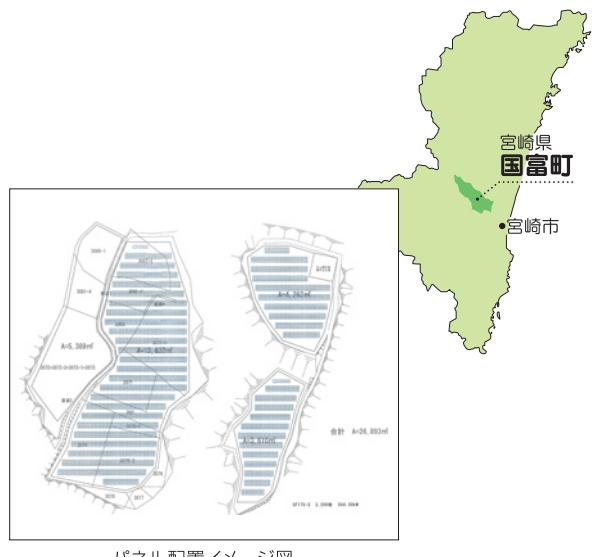




## みやざきにグリーンコープの市民発電所第2号 「深年太陽光発電所」が実現！



パネル配置イメージ図

起工式に参列した各単協の理事長からは、「地域や行政の協力を得ている状況が分かり、私たちの運動を知つてもらう良い機会になる」と思つた「川内原発が再稼働されようとしている中、早く

市民発電所を目に見える形にして脱原発に弾みをつけたい。次はかごしまと思つてすすめたい」「2015年は出資金の呼びかけに力を入れて、いつ具体化してもいいように準備をしていきたい」「私

### 私たちの夢が実現することを実感



起工式のようす

みやざきの理事長永野清美さんが、様々な関係者の尽力があつて今日という日を迎えたことの感謝と、深年太陽光発電所を建設する運びとなつた

※2ソーラーフロンティアの代理店で、太陽光発電事業に関して、土地の斡旋から太陽光発電所の建設メンテナンスまで総合的に行っている会社

グリーンコープは原発のない社会を実現するために、自然エネルギーによる発電をすすめています。その具体的な第一歩を踏み出した福岡県糸島市の神在太陽光発電所は、順調に発電を続けています。2014年12月末までに「1,588,720kWh」を売電（売電価格は、63,228,800円 税抜）しています。

そしていよいよ、2基目の市民発電所がグリーンコープ生協みやざきエリアに実現することになりました。その名称は「深年太陽光発電所」。

\*1 グリーン・市民電力 深年太陽光発電所の起工式のようすと、宮崎県で太陽光発電所をつくりたいとプロジェクトを立ち上げ検討を進めたみやざきの理事長とグリーン・市民電力会長の想い、参列した各単協理事長の「後に続みたい」という熱い気持ちを紹介します。

\*1 グリーンコープの各単協が出資し社員となり、原発に頼らず風力や太陽光などの自然エネルギーで、市民自ら電気をつくり出す市民電力事業を行なう

(2面に続く)

1月8日、宮崎県東諸県郡国富町に建設する深年太陽光発電所の起工式が行われました。敷地は高低差のある高台に3面に分かれています。いずれも日当たりが良く、効率よく発電できるよう設計

されています。その一画に設けられた会場には、施工主であるグリーンコープから共同理事ら約20人、グリーンコープ生協みやざきから理事ら約30人、施工者である植松商事と吉野建設、国富町役場と

ティア（2面記事参照）など総勢70人が集まりました。子どもを連れたみやざきの理事や委員も参列し、おごそかな中にも元気な子どもの声が聞こえる、グリーンコープらしい起工式となりました。

式終了後の挨拶では、みやざき理事長永野清美さんと、ソーラーフロンティアの代理店で、太陽光発電事業に関して、土地の斡旋から太陽光発電所の建設メンテナンスまで総合的に行っている会社

# 共生の時代

みどりの地球を  
みどりのままで

2015 2月

■発行：グリーンコープ共同体理事会  
■編集：共生の時代・編集部  
■〒812-8561  
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号  
博多大通ビルディング3階  
TEL 092(481)7923  
FAX 092(481)7876  
<http://www.greencoop.or.jp/>

### Contents

みやざきにグリーンコープの  
市民発電所 第2号 1・2  
「深年太陽光発電所」が実現！

おおいた発  
キープ&ショップすずかけ  
オープン 3

職員とワーカーズの  
グリーンコープ基礎研修 4・5  
2014年度の生産奨励金を  
加工用トマト生産者へ届けました

「グリーンコープの牛乳」  
学習会 6

グリーンコープの輪・和・環  
グリーンコープ生協くまもと  
小森 志保さん 7

別紙にて、「放射能汚染と向きあう  
(放射能測定室より)」を掲載

チェック！ CMで活躍したコロちゃんファミリーとは今月でサヨナラすることになるけれど、ホームページでは「GreenStory」やこれまでのCMがいつでも見られるよ！



## 深年太陽光発電所の起工式によせて

グリーンコープ共同体 代表理事  
グリーン・市民電力 会長  
田中 裕子さん



神在太陽光発電所が1年前から稼働し、順調に発電を続ける中で、ようやく2基目の太陽光発電所が実現することになりました。2基目の実現までの道のりは長かったです。共同体の中で規模の小さい、グリーンコープ生協みやざきのエリアで私たちの発電所が実現できることで、今、あとに続こうと検討を進めている他の単協にとって励みになると思います。佐賀県の玄海原子力発電所の一号機の廃炉が決まりました。

神在太陽光発電所が1年前から稼働し、順調に発電を続ける中で、ようやく2基目の太陽光発電所が実現することになりました。2基目の実現までの道のりは長かったです。共同体の中で規模の小さい、グリーンコープ生協みやざきのエリアで私たちの発電所が実現できることで、今、あとに続こうと検討を進めている他の単協にとって励みになります。佐賀県の玄海原子力発電所の一

たが、その分のエネルギーには自然エネルギーに変えていきたいですね。今まで形になつていくことで、組合員が自分たちの出資金が生かされている実感が持て、さらに出資しようという思いが広がります。市民発電所が一つずつでも形になつてていくことで、エネルギーを自ら作り出しています。グリーンコープのそれぞれの地域で自分たちの発電所を持つことで、自分たちで使えるエネルギーを自ら作り出していくことが高まるのではないかと待しています。共同体みんなの大きな力でもつともっと広げていきたいと

います。

### 深年太陽光発電所建設が決まるまで

グリーンコープエリアに2メガワット規模の自然エネルギーによる市民発電所を10基つくることを目指すという方針を実現するために、各単協でも検討が進められています。1基目として、福岡県糸島市の神在太陽光発電所が建設されました。

グリーンコープ生協みやざきでは、2013年5月14日に、「宮崎ソーラープロジェクト」の取り組みをスタートし、深年太陽光発電所の起工式に至るまでに、計14回の会議で検討を重ねてきました。

当初、候補地については、宮崎県内には生産者も多く、比較的早く見つかるだろと考えていました。グリーンコープの生産者の皆さんへ協力ををお願いし、生産者や組合員からの紹介を受けて、調査したり見学に行ったり、地元の不動産会社へのアプローチなどに動いていく中で、しだいに難しい状況が見えてきました。すでに多くの企業が土地確保に動いていて、まとまった面積の適地が見つからない、地域によっては既に太陽光発電過多になり系統連系(接続)ができないなどの状況でした。

そのような中、宮崎県の行政を訪問して、植松商事と出会いました。2013

年12月からは、植松商事からさまざまな情報の提供を受けながら、具体的な検討を進めることができます。

1年4ヶ月の検討の中で、調査した候補地は33件、13市町に上りました。その中で国富町とえびの市の候補地が最終検討まで残りました。えびの市の案件は、系統連系の経費が高額であること、系統連系までにかかる期間が2年近く必要なこと、土地の造成に多額の費用が見込まれることから、難しいと判断しました。国富町の案件は、系統連系の費用負担が当時の試算の3分の1に抑えられ、電気の買取り価格が36円(税抜)の設定となっていました、1年半で系統連系可能でした。九州電力が自然エネルギーによる発電の系統連系を新規に受け付けないという待ったなしの状況で、これ以上の候補地はないとみやざきの理事会として判断しました。

今後、建設が始まり、その後竣工式を迎えることになります。無事系統連系され売電を開始するまでには、検討すべきことがたくさんある状況です。みやざきの理事会では、組合員の想いを寄せ合って臨んでいくことを共有しています。

\*発電設備を電力会社の配電線に接続して運用すること

## 施主挨拶

### 市民発電所は未来に残す大切な財産

グリーンコープ生協みやざき  
理事長  
永野 清美さん



グリーンコープでは、2011年の原発事故以降、組合員の力で市民発電所をつくりたいとみんなの想いを寄せて活動していました。この市民発電所は、未来に残していく大切な、大切な財産です。みやざきでは、2013年5月から市民発電所建設の検討を進めてきました。最初はいくつかの困難があり、先行きが厳しいと思われました。が、植松商事と出会い、国富町からのお話と出会うことができました。

国富町の自然エネルギーの取り組みは素晴らしいと、グリーンコープがこ

くらせていただきました。本当に良かったと思っています。本日は土地所有者の方々ともお話をさせていただきまして、自然豊かな、とても素晴らしい場所で発電所の建設ができることに感謝しています。みやざきでも今日に至るまでには、何度も何度も話し合いを重ねてきました。発電所が完成するまで、そして稼働してからも組合員の想いを寄せていただきたいと思っていま

## 太陽光発電用パネル製造工場を見学しました



起工式に合わせて、建設地近くにいるソーラーフロンティア(株)の国富工場を組合員が訪問しました。起工式終了後にはみやざき理事会・委員会メンバーが深年太陽光発電所設置されることになつて、太陽光パネルの製造のようすを見学しました。ソーラーフロンティアの国富工場は、世界最大規模の工場で、一般にわれている結晶シリコン系ではなく、CIS(銅・インジウム・セレン)太陽電池モジュールパネルを製造します。それに特徴があり、どちらが良いとは言えませんが、地元で生れた行政との関係もつくられていること、太陽光パネルの運搬の際の二酸化炭素の発生が抑えられることが、太陽光発電所に大きな利点と考へて、深年太陽光発電所に使うことを決めました。

一般社団法人グリーン・市民電力から



### グリーンコープ・グリーン電力出資金

7,612人 825,800,000円 (2014年12月27日現在)

#### 神在太陽光発電所売電量

2014年12月 57,560kWh 定格出力1,057kW(280世帯相当)  
2014年4月からの累計は967,880kWh

#### 若宮物流センター太陽光発電所売電量

2014年12月 2,900kWh 定格出力47kW(13世帯相当)  
2014年4月からの累計は39,573kWh

### 自然エネルギーによる市民発電所をさらにひろげていくために グリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

#### 広島物流センター太陽光発電所売電量

2014年12月 2,943kWh 定格出力47kW(13世帯相当)  
2014年5月からの累計は35,290kWh

#### グリーンコープやまぐち生協西部地域本部太陽光発電所売電量

2014年12月 2,277kWh 定格出力54kW(15世帯相当)  
2014年9月からの累計は17,765kWh